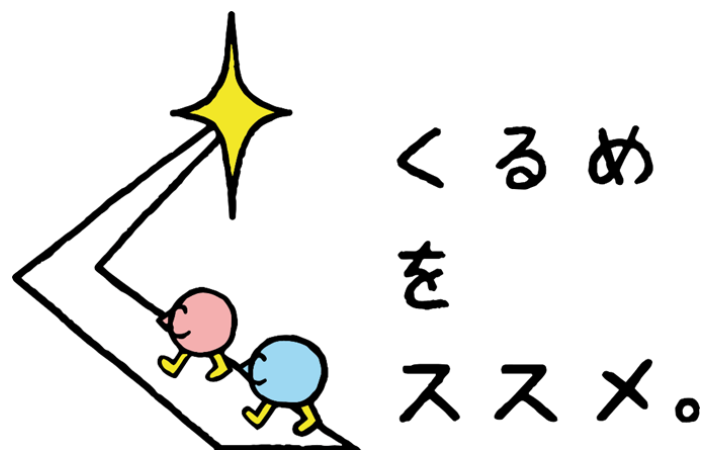




計画策定過程における 市民意見聴取状況について (第2回審議会報告用)

令和6年(2024)11月

5つの取り組み

1 市民意識調査（第1回審議会で報告済）

2 市民アンケート

3 子どもたちからの意見聴取（学校訪問）

4 関係団体の意見交換会

5 市民とのワークショップ

- R5年度に実施
- 現在取り組んでいる 3 3 項目のまちづくり政策をあげて、重要度と満足度を質問

市民意識調査

2

3

4

5

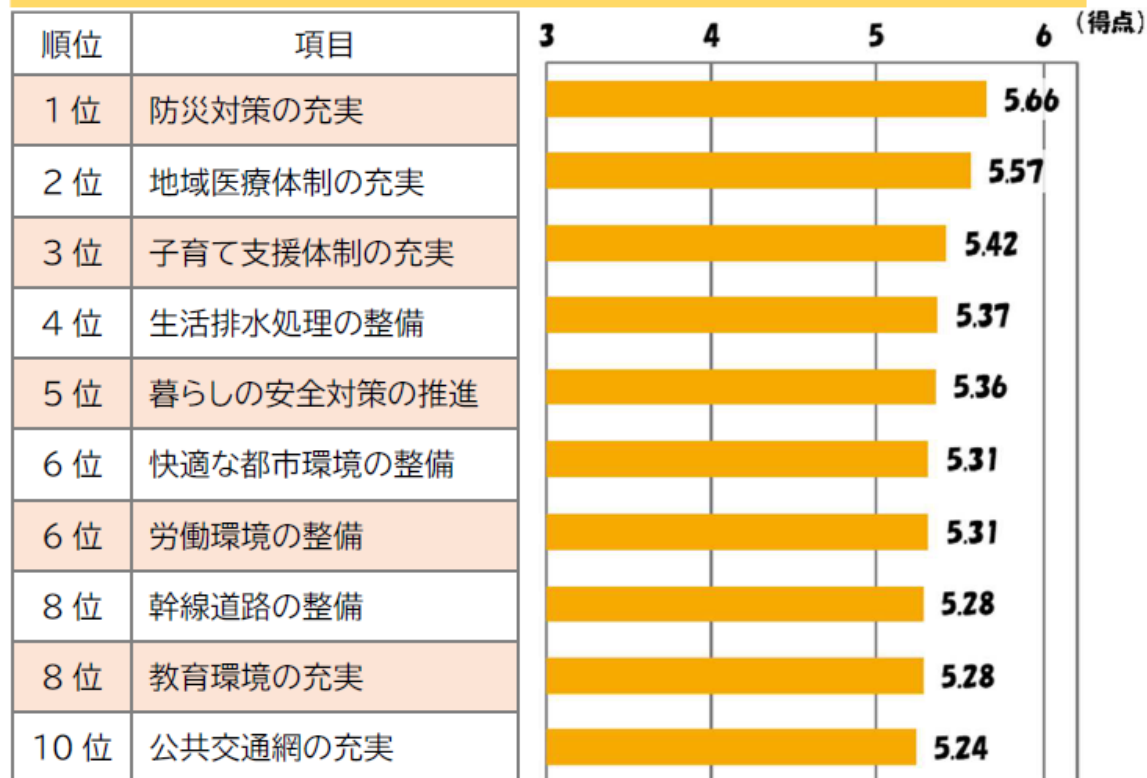
重要度が最も高いのは、「防災対策の充実」で、以下、「地域医療体制の充実」、「子育て支援体制の充実」になっています。

【傾向】

40 歳～70 歳代は「地域医療体制の充実」、18 歳～30 歳代は「子育て支援体制の充実」が上位となっています。

重要度が高い 10 の取り組み(全体平均:4.92(6 点満点))

n=3,010



重要度得点・・・「重要」という評価であれば6点、「やや重要」4点、「あまり重要でない」2点、「重要でない」0点とそれぞれ得点化し、4つの評価の回答者数で割った値

市民意識調査

2

3

4

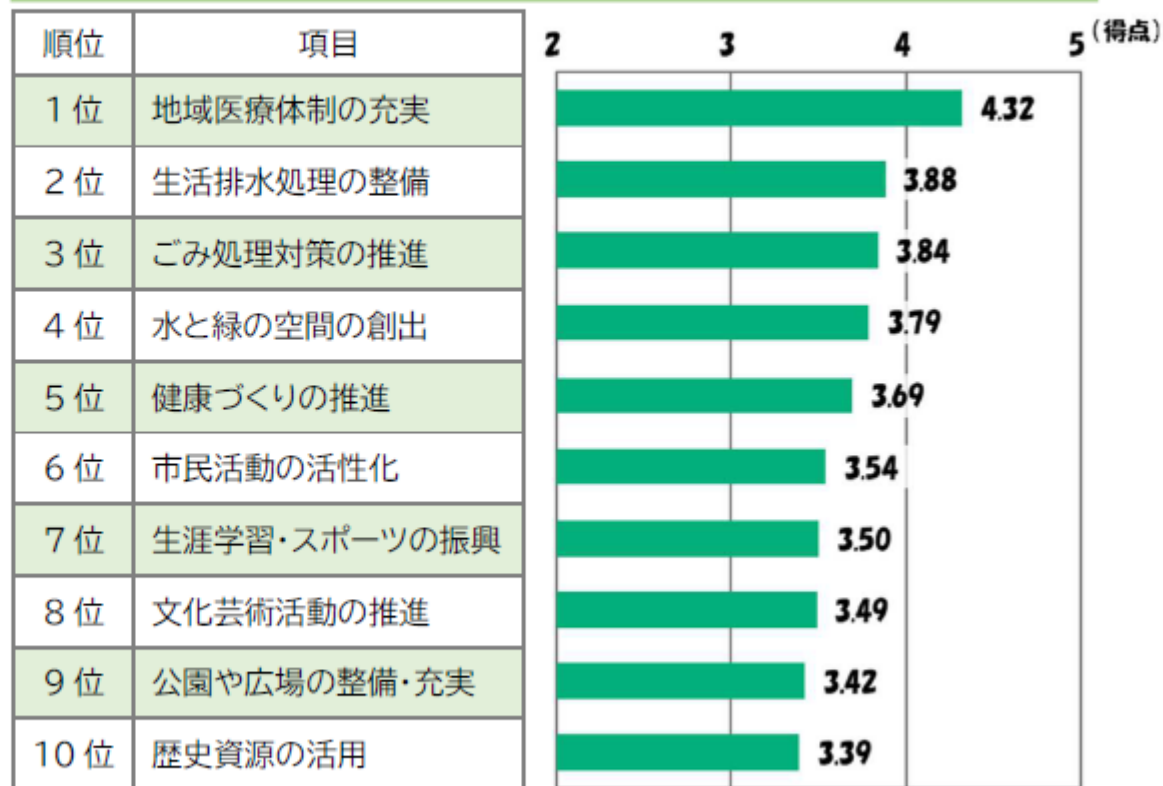
5

満足度が最も高いのは、「地域医療体制の充実」で、以下、「生活排水処理の整備」、「ごみ処理対策の推進」になっています。

【傾向】

すべての年齢層、ブロックで「地域医療体制の充実」は上位となっています。

満足度が高い 10 の取り組み(全体平均:3.16(6 点満点))
n=3,010



満足度得点・・・「満足」という評価であれば6点、「やや満足」4点、「やや不満」2点、「不満」0点とそれぞれ得点化し、4つの評価の回答者数で割った値

1

市民アンケート

3

4

5

- 市民アンケート《第1弾》

対象：全市民

期間：6月3日～7月31日

聴取方法：インターネット、くるモニ、
出張アンケート

- 市民アンケート《第2弾》

対象：全市民

期間：8月3日～10月31日

聴取方法：無作為抽出3,000人へのDM
インターネット

1

市民アンケート

3

4

5

●市民アンケート《第1弾》



アンケートの回答件数

回答総数

1 3 8 4 件

WEBアンケート	2 5 2 件
くるモニ	4 6 6 件
出張アンケート	2 7 5 件
学校訪問時アンケート	3 9 1 件

学校訪問で回答してもらった意見も更に追加し、
回答総数件数は第1回目報告時より増加

1

市民アンケート

3

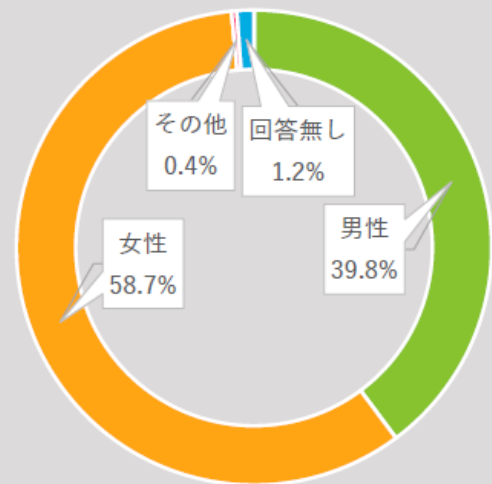
4

5

●市民アンケート《第1弾》

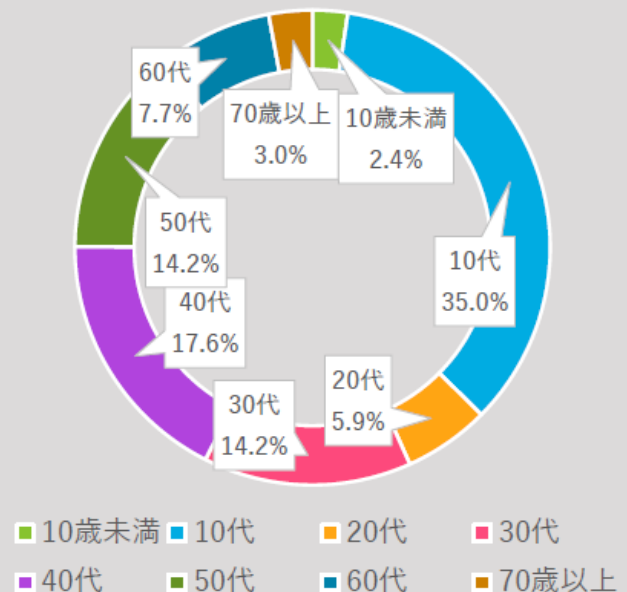
参加者の性別と年代の内訳

性別



■ 男性 ■ 女性 ■ その他 ■ 回答無し

年代



■ 10歳未満 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70歳以上

1

市民アンケート

3

4

5

●市民アンケート《第1弾》

アンケートでお聞きした質問

質問1

久留米の好きなところ

今の久留米の“好きなところ”や、“自慢できるところ”は何ですか？

質問2

残したいところ

未来の久留米に、“残していきたい”、“変わらないでほしい”と思うところは何ですか？

質問3

未来のイメージ

未来の久留米に、“こうなったらいいな”、“これがあったらいいな”と思うことは何ですか？

[illegible]

1

市民アンケート

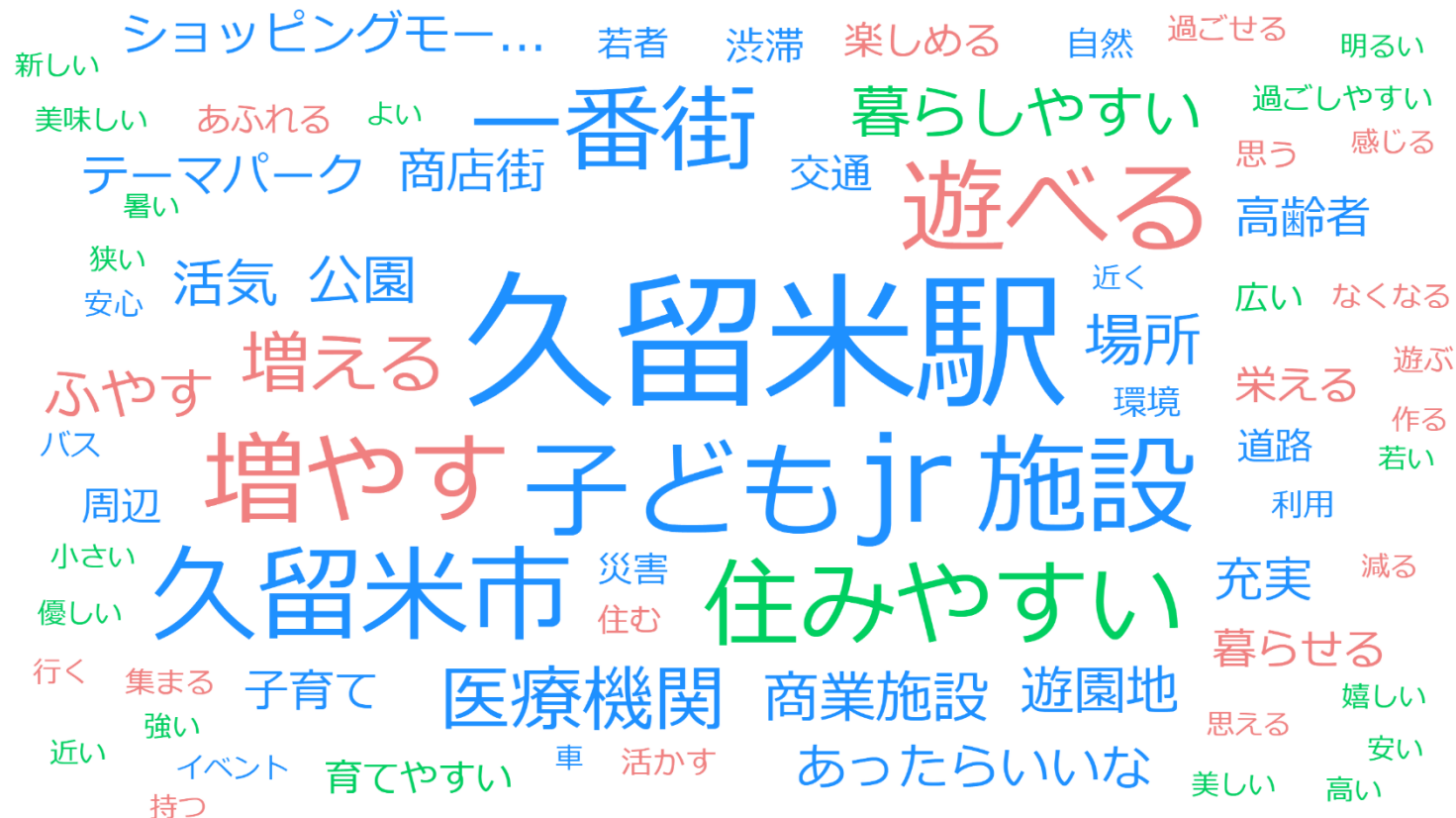
3

4

5

●市民アンケート《第1弾》

質問3 未来のイメージ



1

市民アンケート

3

4

5

●市民アンケート《第1弾》

質問3 未来のイメージ 主な意見

場所・施設

駅周辺が、商業施設や娯楽施設で賑やかになってほしい

子ども・子育て

安心して子どもを産み、育てやすい環境と、子どもが安全に遊べる場所があるといい

楽しめる

自然やグルメ、イベントでお年寄りから子どもまで楽しく暮らせるまち

安心・住みやすいまち

災害に強く、治安のよい安心・安全で、住みやすいまち

1

市民アンケート

3

4

5

●市民アンケート《第2弾》

回答総数：1,463件



市民アンケート実施中！

そのつづきが
くるめの未来になる。

詳しくはコチラから



1

市民アンケート

3

4

5

- 市民アンケート《第2弾》
市の現状を1分のショート動画でも公開中



1

市民アンケート

3

4

5

●市民アンケート《第2弾》

問3 人口減少が進むことで、特に久留米市にとって深刻だと感じる事柄を選択（3つまで）

問3 人口減少による特に深刻な課題を3つまで	全回答
1.商店や飲食店の減少や町の賑わいや活気の喪失	17.55%
2.担い手不足による「地域コミュニティ」の衰退	6.55%
3.担い手不足による「地域の伝統・文化」の衰退	5.29%
4.公共交通機関の廃線や減便	13.69%
5.労働力不足による商工業や農業の衰退	13.18%
6.医療・介護の担い手不足	13.65%
7.学校の統廃合	4.06%
8.空き家や耕作放棄地の増加などによる住環境の悪化	11.40%
9.行政機能・サービスの低下	9.03%
10.その他(具体的に)	1.30%
無回答	4.30%

1

市民アンケート

3

4

5

●市民アンケート《第2弾》

問4 問3の結果あなた自身の生活にどのような影響があると思いますか？

- ・ 人手不足による勤務先や関係する会社の倒産
- ・ 将来介護が必要になった時に介護を受けられなくなる
- ・ 農業従事者の高齢化による後継者不足が起こる
- ・ 公共交通の衰退で出不精になり心身の健康を保てなくなる
- ・ 地域の行事が減り、楽しみが無くなっていく

問5 問3を踏まえて、あなたはどのようなまちになって欲しいですか？

- ・ 子どもから高齢になるまで安心して住めるまち
- ・ 規模はコンパクトになっても支えあっていきいきと暮らせるまち
- ・ 地域の繋がりを持ち、どの世代でも豊かに安心して暮らせるまち
- ・ 中核都市として筑後地域の他の市町村を引っ張っていくまち
- ・ 外国から移住した方が暮らしやすく共存出来るまち

1

2

学校訪問

4

5

●概要

小中学校等を対象に、総合政策課の職員が出向き、授業を通じて子どもたちの意見聴取及び久留米市への愛着をもってもらうことを目標に行う。

●実施：草野小、柴刈小、大善寺小（11/27予定） 三潨中、高牟礼中、城南中 久留米商、特別支援学校（高等部）

合計 約800人

1

2

学校訪問

4

5



久留米の好きなところは？

- ・ 自然豊かなところ
- ・ 食べ物がおいしいところ
- ・ 人が優しいところ



どんな久留米に住みたいですか？

- ・ 自然豊かなまががいい
- ・ 気軽に遊びに行けるところが多い
- ・ 犯罪・悪口がないまち
- ・ 交通網が整っているまち



わたしが住んでみたいまちは

- ・ みんなが元気になれるまち
- ・ 人は多いけど自然豊かなまち
- ・ 観光スポットたくさん気分ウキウキ
たくさんなまち
- ・ 障害者への差別がないまち

1

2

3

意見交換会

5

●概要

絆補助金の採択を受けている市民活動団体や、
様々な分野において支援活動を行っている団体
等による意見交換会を実施

日時：令和6年8月28日（水）14時～17時

会場：久留米市市民活動サポートセンター
みんくる

1

2

3

意見交換会

5

●参加団体

- くるめ災害ネット ハッシュ#
- 久留米ガス株式会社・くるめ協働CASE PJ
- まちいくサロンcote
- お母さん大学
- 久留米健康くらぶ
- わたしと僕の夢
- 久留米グリーフケアcaféやすらぎの部屋
- ハラパンの会 バブーシャの会
- ♪メモリー・ケア♪
- 心眼♡あいず
- ツインズクラブ
- 地域活動応援塾くるめ
- 発達障害交流スペース『ぐちゃぐちゃ共生ムーン』
- 子どもの人権を考える会
- ダンデライオン 不登校ひきこもりを考える親の会
- 福岡県防災士ネットワーク

16団体
21人参加

1

2

3

意見交換会

5

テーマ①団体の困りごと



- ・ 地域を繋ぐ人材が不足している
- ・ 居場所づくり支援の在り方が難しい
- ・ 高齢者のデジタル化への対応が課題
- ・ 支援が必要な人が経済的な理由で適切なサービスを受けられない
- ・ 市民活動を継続するための資金調達が厳しい

テーマ②住み良いまち
久留米に必要なことは

- ・ 学校と地域のつながりの強化
- ・ 企業の市民活動への支援の促進を図る
- ・ 企業への社会課題研修が必要
- ・ 異文化交流の場として総合型の居場所を整備
- ・ 女性や若い人が積極的に企画に関わる仕組みが必要

1

2

3

4

ワークショップ

●概要

- ①無作為抽出による市民3,000人を対象に、
非公募でワークショップを実施
- ②全市民を対象に公募し、ワークショップを実施

●日程

- ①9月29日(2回)・10月12日 計3回
- ②9月27日・10月9日 計2回

●参加者数
128名

1

2

3

4

ワークショップ



防災、子育て、商工業などの
テーマで参加者が意見交換

- ・ 中心部に賑わいが必要
- ・ 若者にずっと住み続けてほしい
- ・ 子育てしやすい街になってほしい



1

2

3

4

ワークショップ

ワークショップでは、テーブル毎に分野を設定し、今後のまちづくりの課題や必要な取組などについて意見交換を行いました。

分野	主な意見
①子ども・若者	異文化交流が必要。病児保育の不足。発達障害の支援。 外国人を受け入れる環境を整える。
②移動・交通	久留米を行ったり来たりしやすい環境の整備。 シェアタクシーやAIの活用による新たな公共交通など。
③まちのにぎわい	芸能・音楽にふれ合える。学生や若い人が来て買物が出来る。 商店街のにぎわいが欲しい。
④防災・防犯	外国人の防災。避難所の環境向上。小さいつながりが大事。 住民・行政の双方が考える。若者にSNSで情報発信。
⑤高齢者・福祉	福祉の理解を拡げる。学び直しや生涯学習。 社会とのつながりづくり。多様な人が共生できるまち。
⑥次世代担い手	まちに愛着を持たせる。子どもを増やす。
⑦自然・環境	環境専門のお店の活性化（ごみ削減）が大事。
⑧商工業・農業	6次産業化を進める。機材や人手のシェア。県南の中核都市。 久留米で育った子ども達が久留米で働く選択肢がある。
⑨その他	地域のコミュニケーション。市民が幸せであること。